

「静岡市プラモデル化計画」 静岡型学校教育プログラムのご案内

静岡市は全国のプラモデル出荷額の8割以上を占める「模型の世界首都」として国内外に名を轟かせています。

こうした背景から、本市では、行政・民間企業・市民の皆様が一丸となってプラモデルでまちを盛り上げる「静岡市プラモデル化計画」に取り組んでおります。

その一環として、この度、「静岡型学校教育プログラム」と称し、静岡ならではの地域資源「プラモデル」を活用した学校での授業を推進する事業を開始することとなりました。

現在、小中学校の先生に向けた研修と実際に授業を行っていただけるモデル校の募集をさせていただきます。

ご興味のある先生方は、ぜひともお問合せいただけますと幸いです。

1 教員向け研修

- (1)対象 市内小中学校の先生(図工・美術教科向け)
- (2)実施時期 7月下旬～8月にて調整中
- (3)場所 検討中
- (4)内容 実習を交え、図工や美術にどのようにプラモデルを活用するかを考えます
- (5)費用 無料(会場までの交通費は自己負担となります)

2 モデル校募集

- (1)対象 市内小中学校／児童・生徒の数 90人以内(要相談)
- (2)実施時期 要相談(応募校の希望を基に可能な限り調整いたします)
- (3)教科 図工・美術(6～8時限程度を想定)
授業イメージ(次ページのとおり)
- (4)費用等 無料(キット、工具等は静岡市がご用意いたします)

3 お問合せ

静岡市 経済局 産業振興課 プラモデル振興係
Tel 054-354-2188

図工、美術は、児童・生徒の発想力、創造力を育むもの。
プラモデルは、説明書どおりに組み立てるものとの認識が強いが、実は発想力、創造力を育む教材にもなり得る。

例えば、全く同じキットから



各々の創意工夫によりたくさんの個性豊かな作品が生まれる。

モデル授業案1(美術・図画工作)プラモデルを使ったジオラマ制作

- ①作りたい世界観をイメージし、プラモデルを組み立てながら構成を練る(1時間程度)



比較的簡易的に作ることが可能なプラモデルとジオラマ土台を用意



プラモデルを組み立てながら、決められた寸法の土台にどんな世界観を作るかイメージを膨らませる。実際にできたプラモデルを土台に配置しながら作品の構成を練る

- ②イメージに合わせてプラモデルを塗る(2時間程度)



基本色等のアクリル塗料を混ぜ合わせて、イメージどおりの色を作り出しプラモデルを塗装。

- ③イメージに合わせて土台をデコレーションし、ジオラマを完成させる(2~3時間程度)



テクスチャーペイント等を使って土台を作る、作品のイメージに合ったデコレーション素材を各自、探して持ってきてもらう

- ④完成品の鑑賞会を行う(1時間程度)



ジオラマの作風に合わせて屋外などで鑑賞会・撮影会を実施

モデル授業案2(美術・図画工作)ミキシングビルドによるオリジナルプラモデル制作

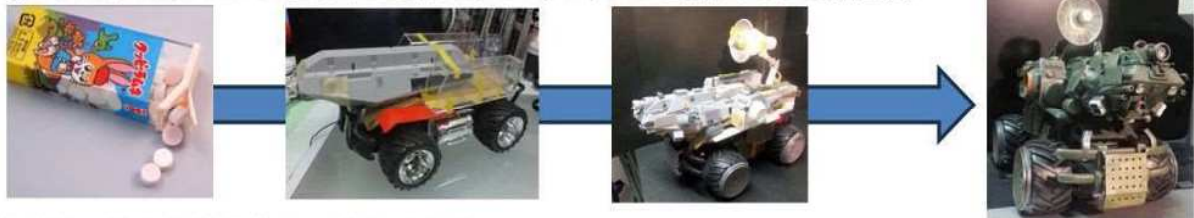
- ①プラモデルとミキシングビルドについて学ぶとともに作りたい自分だけのプラモデルをイメージするとともにミキシングビルドに挑戦する(2時間程度)



プラモデルとミキシングビルドにまつわる話ミキシングビルド作例を見ながら、作りたいプラモデルのイメージを膨らませる。

こちらでプラモデルの端材を用意するほか、プラモデルのイメージに合った、乳酸菌飲料のプラスチック容器などを、自身に用意してもらい、これらを組み合わせるオリジナルプラモデルを制作

- ②ミキシングビルドによって生まれた自分だけのプラモデルに色を付ける(2時間程度)



- ③プラモデルにおけるパッケージアートの重要性を学ぶ(巨匠の書いたパッケージアートを鑑賞する)とともに、自分が生み出したオリジナルプラモデルの設定(名前や性格、物語等)を想像する。(1時間程度)



- ④想像した設定をもとにオリジナルプラモデルの活躍想像図(プラモデルのパッケージアート)を描く(2時間程度)



- ⑤オリジナルプラモデルの発表会鑑賞会を行う。(1時間程度)

